

開館20周年
記念企画展

筑後川、

早津江川の
水運

はこぶ

「伊能大図(米国) 彩色図」(部分) 国土地理院蔵



青木繁「漁夫晩帰」ウッドワン美術館蔵

2025年

2月7日(金)

3月16日(日)

開館時間／9時～17時 ※入館は16時30分まで
休館日／毎週月曜日 ※休日の場合は翌平日
観覧料／大人500円、小中高200円
※20名以上団体割引有



「吉田初三郎式鳥瞰図《久留米市鳥瞰図》」(部分) 国際日本文化研究センター蔵

佐野常民と
三重津海軍所跡の歴史館

SANO TSUNETAMI and
the Mietsu Naval Dock History Museum

主催：佐賀市(佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館) 共催：佐野常民顕彰会
後援：佐賀県、日本赤十字社佐賀県支部、サガテレビ、ぶんぶんテレビ、NBCラジオ、
エフエム佐賀、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社

鉄道や道路網が発達する近代以前、水運は、物流の重要な位置を占めてきました。筑後川流域では、諸富、若津といった河港を拠点に産業が発達し、幕末には地の利を活かして三重津海軍所が設置されました。

開館20周年を記念した本展では、幕末から明治にかけて、水運で「何が」運ばれたのかという点に注目し、二つの河川と流域との関わりやこの地域の繁栄を紹介します。

ものをはこぶ

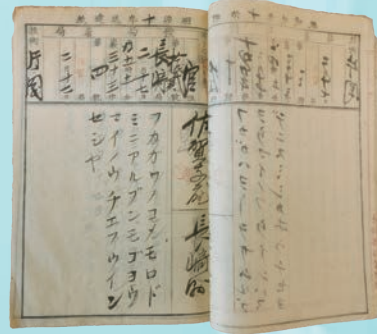


「榎津江湖岸の木材基地に到着した筏」
大川市提供

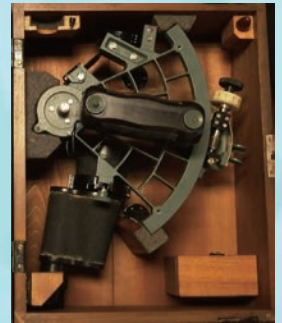


「攝津名所圖會」(部分)
国立国会図書館デジタルコレクション

ひとがはこぶ



「明治行政資料：電信書留 明治十年」 佐賀県立図書館蔵



六分儀 館蔵



「練習船干珠丸での天測実習」 館蔵

必見!

「漁夫晩帰」



青木繁「漁夫晩帰」 ウッドワン美術館蔵

青木繁「漁夫晩帰」は、大川の酒造会社清力商店の事務所となる洋館の大広間に飾るために、明治41年(1908年)に制作されました。

たて119cm、よこ198cmという大作です。

講演会

「青木繁と佐賀」

要申込

講師 **野中耕介氏**
(佐賀県立美術館 学芸課長)



日時 **2月22日(土)**
13時30分～15時

定員 **40名(先着順)**

場所 **1階 多目的室**

※観覧料が必要です。
(大人500円、小中高200円)

申込はこちら



ギャラリートーク

展示の見どころを担当学芸員が解説します!

日時/隔週日曜日(2/9、23、3/9)
13時30分～(30分程度)

※観覧料が必要です。

場所/展示室

申込不要

開館20周年記念パネル展

日時/2月7日(金)～3月16日(日)

場所/1階 多目的室

申込不要
観覧無料

体験学習

「早津江川の泥で作る『光る泥団子』」

対象/小学生以上、15名

日時/3月9日(日)、16日(日) 13時30分～

場所/1階 多目的室



要申込
無料

佐野常民と 三重津海軍所跡の歴史館

TEL **0952-34-9455**

佐賀市川副町大字早津江津 446-1
https://sano-mietsu-historymuseum.city.saga.lg.jp



Access アクセス方法



- 佐賀バスセンターから
佐賀市営バス諸富・早津江線にて30分
「佐野・三重津歴史館入口」バス停下車
徒歩約10分
- 西鉄柳川駅から
西鉄バス久留米 沖新線にて30分
終点「早津江」バス停下車、徒歩10分



- 長崎自動車道佐賀大和ICから
車で40分
- 九州佐賀国際空港から
車で15分
- 有明海沿岸道路諸富ICから
車で約1分

